

取組 17 県立高校の再編

現状

今日の高校は、義務教育を修了した者の97.8%（平成20年5月、全国平均）が進学する教育機関として定着しています。本県の高校進学率は97.9%で、今後もこの程度の水準で推移するものと見込まれます。

本県の平成20年3月の中学校卒業生数（中等教育学校を含む）は19,860人であり、県内の公立高校等（全日制及びフレックススクール）の入学者数は13,938人です。なお、通学区域については、平成19年度からすべての県立高校で全県一区になっています。また、県立高校の募集定員については、中学校卒業生数、県立高校への進路希望状況、通学時間等の地域の実情を踏まえて定めています。

（県立高校の配置）

平成20年4月現在普通科を主とする高校（中等教育学校、理数科、英語科等を含む（以下「普通科系高校」という））が38校、職業学科を主とする高校（以下「専門高校」という）が15校、総合学科や普通科と専門学科の併設校（以下「総合系高校」という）が11校設置されています。平成20年度の募集定員は次表のとおりです。

（中学校卒業生の見込み）

中学校の卒業生数は、平成25年までは増減を繰り返していますが、平成26年以降は太田館林地区（旧東部第1学区）を除くどの地区も中学校卒業生数が減少し、平成30年度までに県全体で20学級程度の減が見込まれます。

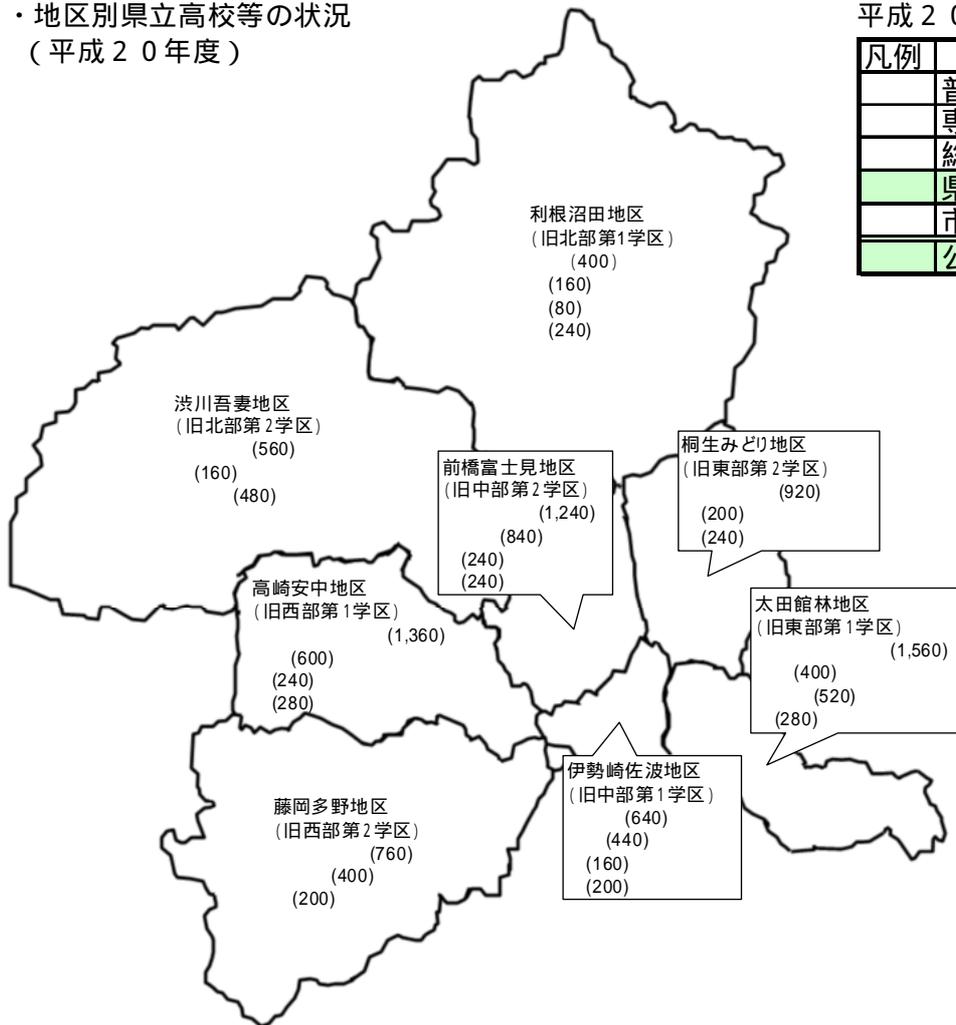
（男女別学の状況）

県立高校64校のうち16校が男女別学になっています。

・地区別県立高校等の状況
（平成20年度）

平成20年度の定員

凡例	校種	校数	定員
	普通科系高校	38	7,440
	専門高校	15	3,200
	総合系高校	11	1,920
	県立計	64	12,560
	市・組合立高校	6	1,480
	公立計	70	14,040



公立高校等の入学者数及び学級数の見込み



・公立高校等とは、県立、市・組合立高校及び中等教育学校のことです。

・平成25年、平成30年、平成35年の入学者及び学級数の見込みは、平成20年の数値から推計しています。

課題

- ・入学者数の減少に伴い学校規模が小さくなると、生徒の多様な希望に対応する教育課程の編成、学校行事や部活動などの活力、多様な個性のふれあいや生徒が切磋琢磨できる環境などに影響がでること

取組の方向

- ・中学校卒業生数や進路希望の状況、通学事情等を踏まえて、社会の変化や生徒のニーズに対応した活力ある教育活動が展開できるよう県立高校を再編整備します。
- ・社会的ニーズに対応した高校教育を推進できるよう学科等を再編します。
- ・県立高校の再編整備に併せて男女共学を推進します。

主な事業の概要

事業の概要	担当部署
<ul style="list-style-type: none"> ・前橋商業高校施設整備 前橋商業高校と前橋東商業高校の統合に対応して校舎を改築し特色ある商業教育を推進します。 	管理課
<ul style="list-style-type: none"> ・ぐんまチャレンジ・ハイスクールの指定 生徒が自信を持ち自分のキャリアを高められるよう効果的な教育課程を編成します。 	高校教育課

達成目標

平成22年度までに県立高校再編整備基本計画を策定